

1. 講義

- 川西徹, 「化学薬品の品質審査」, 星薬科大学 (2013.6)
- 川西徹, 「薬学への招待」, 東邦大学薬学部 (2013.6)
- 川西徹, 「医薬品の安全性評価について - 非臨床毒性試験の規制における役割 -」, 大阪大学薬学部 (2013.12)
- 奥田晴宏, 「医薬品の品質・審査の考え方」, 東大大学院医薬品評価科学レギュラーコース (2013.7)
- 奥田晴宏, 「承認審査と品質保証」, 国立保健医療科学院 (2013.5)
- 合田幸広, 「生活に即した薬学 レギュラトリーサイエンスの実践, 健康食品の品質とニセ薬の話を中心に」, 星薬科大学早期体験学習講義 (2012.4)
- 合田幸広, 「生薬及び漢方製剤の品質確保」, 保健医療科学院薬事衛生管理研修 (2013.6)
- 合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2013.11)
- 香取典子, 「薬事衛生管理コース: 統計学的手法」, 国立保健医療科学院 (2013.5)
- 香取典子, 「レギュラトリーサイエンスと科学的根拠」, 星薬科大学医薬品評価レギュラトリーサイエンス II (2013.6)
- 香取典子, 「医薬品申請とガイドライン」, 星薬科大学医薬品評価レギュラトリーサイエンス II (2013.6)
- 香取典子, 「医薬品申請における国際調和」, 星薬科大学医薬品評価レギュラトリーサイエンス II (2013.7)
- 坂本知昭, 「薬事衛生管理コース: 品質試験検査概論」, 国立保健医療科学院 (2013.5)
- 坂本知昭, 「薬事衛生管理コース: 分析法バリデーション」, 国立保健医療科学院 (2013.5)
- 小出達夫, 「薬事衛生管理コース: 理化学試験機器概論」, 国立保健医療科学院 (2013.6)
- 日向昌司, 「バイオ医薬品の製造工程の設計と管理」, 明治薬科大学健康薬学コース (2013.4)
- 川崎ナナ, 「医薬品の安全性を確保するために - グローバル化の中で」, 北海道大学大学院 (2013.5)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の開発と品質・安全性確保」, 高崎健康福祉大学 評価医療科学 (2013.5)
- 川崎ナナ, 「バイオ医薬品の品質保証」, 国立保健科学院講義 (2013.6)
- 川崎ナナ, 「バイオテクノロジーで医薬品を創る」, 横浜市立大学大学院 (2013.10)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「麻薬植物」, 平成25年度漢方薬・生薬研修会 (2013.9)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の現状についてUpdate 2013」, 麻薬取締部鑑定部門研修会 (2013.9)
- 内山奈穂子, 「違法ドラッグ製品の分析及び成分の同定について」, 麻薬取締部鑑定部門研修会 (2013.9)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「指定薬物の現状と違法ドラッグの分析法について」, 平成25年度指定薬物分析研修会 (2013.11)
- 内山奈穂子, 「違法ドラッグ製品の分析及び成分の同定について」, 平成25年度指定薬物分析研修会議 (2013.11)
- 緒方潤, 「植物系違法ドラッグ製品の基原植物調査について」, 平成25年度指定薬物分析研修会議 (2013.11)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「いわゆる”脱法ドラッグ”の流通実態と指定薬物制度について」, 三重県警科学捜査研究所 研究発表会特別講演 (2014.2)
- 内田恵理子, 「国立衛研の役割とレギュラトリーサイエンス - 遺伝子治療薬・核酸医薬の最近の話題を含めて -」, 名古屋市立大学薬学部 (2013.4)
- 佐藤陽治, 「再生医療/細胞治療や創薬研究に用いられる細胞の「品質」とは何か」, 名古屋市立大学大学院薬学研究所 (2013.4)

- 佐藤陽治, 「医薬品レギュラトリーサイエンス概説」, 東京大学大学院薬学系研究科 (2013.10)
- 佐藤陽治, 「再生医療製品(細胞治療製品/組織工学製品)の品質・安全性確保」薬学振興会FDDセミナー第9回先端創薬科学講座セミナーコース (2014.2)
- 新見伸吾, 「バイオシミラー医薬品の承認申請における品質・有効性・安全性に関する評価のポイント」, 日本大学生物資源科学部生体活性物質特論 (2013.12)
- 渡邊敬浩, “What is Sampling? -General aspects of sampling and the specified plan and procedure for aflatoxin testing-”, JICA 平成24年度食品安全のためのマイコトキシン検査技術コース (2013.4)
- 松田りえ子, 「分析値の信頼性保証について」, 国税庁鑑定官研修 (2013.5)
- 渡邊敬浩, “General aspects of sampling and the specified plan and procedure for aflatoxin testing”, 農林水産省・FAOアジア太平洋事務所共同開催・コーディネックスに関するアジア地域ワークショップ (2013.6)
- 渡邊敬浩, 「輸入食品検査における分析法の妥当性確認と分析結果の信頼性保証の背景と考え方」, 食品衛生登録検査機関協会平成25年度「初心者研修会」(2013.6)
- 渡邊敬浩, 「国際化を踏まえた食品中有害物質の規制と分析法妥当性確認ガイドラインの改訂について」, 食品衛生登録検査機関協会平成25年度「精度管理研修会」(2013.7)
- 根本了, 「食品中の残留農薬等の規制と公示試験法」, 国立保健医療科学院平成25年度短期研修食肉衛生検査研修 (2013.7)
- 松田りえ子, 「食品中の放射性物質検査の方法と信頼性」, 平成25年度食品衛生検査施設信頼性確保部門研修会 (2013.8)
- 松田りえ子, 「妥当性試験評価ガイドラインについて」, 平成25年度食品衛生検査施設信頼性確保部門研修会 (2013.8)
- 坂井隆敏, 「残留農薬等試験法の妥当性評価ガイドラインについて」, 第31回全国食肉衛生検査所協議会理化学部会研修会 (2013.10)
- 根本了, 「残留農薬等公示試験法の見方・考え方」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成25年度残留農薬等研修会 (2013.10)
- 坂井隆敏, 「加工食品中に高濃度に含まれる農薬等の迅速検出法について」, 一般社団法人食品衛生登録検査機関協会平成25年度残留農薬等研修会 (2013.10)
- 松田りえ子, 「放射能と食品の安全」, 北沢区民講座 (2013.10)
- 鍋師裕美, 「食品中の放射性物質の現状について」, 大阪大学薬学部食品安全学講義 (2013.12)
- 渡邊敬浩, 「国際化を踏まえた食品中有害物質の規制と分析法妥当性確認ガイドラインの改訂について」, 食品衛生登録検査機関協会業務管理研修会 (2014.2)
- 渡邊敬浩, 「国際化を踏まえた食品中有害物質の規制と分析法妥当性確認ガイドラインの改訂について」, 食品衛生登録検査機関協会業務管理研修会 (2014.2)
- 手島玲子, “Positive list system in regulation of agrochemicals (pesticides) and detection methods”, 平成25年度JICA食品衛生のための行政能力強化コース研修 (2014.2)
- 穂山浩, 「食物アレルギーと食品添加物のレギュラトリーサイエンス研究について」, 三重大学大学院 (2013.7)
- 穂山浩, 「食品の安全性確保におけるレギュラトリーサイエンス研究について」, 東京大学農学生命研究科アグリコクーン食の安全ゼミナールII (2013.7)
- 穂山浩, 「食品中アレルギーのリスク評価」, 東京農工大学 (2013.11)
- 穂山浩, 「第9版食品添加物公定書改訂に関する変更, 改定内容について」, 食品衛生登録検査機関協会平成25年度食品添加物研修会 (2013.11)
- 佐藤恭子, 「第3版食品中の食品添加物分析法に関する変更, 改定内容について」, 食品衛生登録検査機関協会平成25年度食品添加物研修会 (2013.11)

- 大槻崇, 「天然物化学概論 (8) 食品と天然物化学」, 千葉大学 (2013.11)
- 杉本直樹, 「天然物化学における計量トレーサビリティの重要性」, 静岡県立大学 (2013.5)
- 杉本直樹, 「機器分析値の計量トレーサビリティの確保」, 福井県立大学生物資源学部 (2013.11)
- 六鹿元雄, 「シリコーンゴム材質試験法」, 食品衛生登録検査機関協会平成25年度業務管理研修会 (2013.9)
- 河村葉子, 「食品添加物とその安全性」, 東京大学 (2013.4)
- 河村葉子, 「食品包装及び包装材料の安全性と法規制」, 日本包装技術協会平成25年度包装アカデミー (2013.9)
- 河村葉子, 「食品用器具・容器包装における法規制」, 東京農工大学 (2013.10)
- 河村葉子, 「食品添加物の開発と規制」, 東京農工大学 (2013.10)
- 五十君静信, 「生食用食肉の微生物基準の背景とリステリアの微生物基準の策定状況について」, 埼玉県・さいたま市・川越市合同研修会 (2013.8)
- 五十君静信, 「レバーの放射線殺菌に関する最新の知見について」, 平成25年度食肉・食鳥肉衛生技術研修会 (2013.5)
- 五十君静信, 「生食肉の微生物規準の背景と基準のもたらしたもの」, 平成25年度静岡市環境保健研究所技術講演会 (2013.9)
- 五十君静信, 「食品に関わる規格基準の現状解説と, HACCP (工程管理) の重要性」, 第38回沖縄県食肉衛生技術研修会 (2014.2)
- 五十君静信, 「畜産食品に由来する抗菌性薬剤耐性菌: 食品衛生の視点から」, 農林水産省内研修会 (食品安全に係る科学セミナー) (2014.2)
- 五十君静信, 「魚肉練り製品の成分規格-微生物規格の背景, 検査方法の現状及び今後の動向-」, 第四回魚肉練り製品の成分規格に関する勉強会 (2014.2)
- 五十君静信, 「微生物のリスクプロファイルについて- 数的指標を導入した規格基準の解説と平成25年度のトピックス-」, 平成25年度第1回HACCP指導者養成研修会 (2014.3)
- 五十君静信, 「「食体験」の安全対策」, 教育ファームの指導者等を対象とする研修会 (2014.3)
- 五十君静信, 「食品の微生物制御と試験法」, 国立保健医療科学院食肉衛生管理研修 (2013.6)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター・ジェジュニの諸性状及び分子疫学」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2013.12)
- 朝倉宏, 「国内におけるカンピロバクター食中毒」, 国立保健医療科学院食肉衛生管理研修 (2013.7)
- 岡田由美子, 「リステリアの規格基準設定の考え方」, 国立保健医療科学院食肉衛生管理研修 (2013.6)
- 野田衛, 「食品からのウイルス検査法の開発, 標準化に関する研究について」, 明治薬科大学薬学部 (2013.4)
- 野田衛, 「ノロウイルスの試験法」, 厚生労働省平成25年度食品衛生検査信頼性確保部門責任者講習会 (2013.8)
- 野田衛, 「食品衛生監視員, ノロウイルスに関する特別講義」, 北里大学海洋生命科学部 (2013.9)
- 野田衛, 「ノロウイルスの検査法について」, 農林水産省ノロウイルス担当者会議 (2013.9)
- 野田衛, 「ウイルス性食中毒について」, 岩手大学農学部 (2013.11)
- 野田衛, 「ノロウイルス対策について」, 国立保健医療科学院平成25年度環境衛生監視指導研修 (2013.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスについて」, 麻布大学生命環境科学部 (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成25年度食品衛生監視員危機管理研修 (2014.1)
- 大西貴弘, 「細菌学序論」, 食品衛生管理者登録講習会 (2013.8)

- 大西貴弘, “New parasitic food-borne disease outbreak”, 岐阜大学・大学院教育改革プログラム研修コース (2013.12)
- 大西貴弘, 「生食を原因とする新しい寄生虫性食中毒」, 大阪大学・薬学部食品安全学特別講義 (2014.1)
- 大西貴弘, 「魚の生食に伴う新しい寄生虫性食中毒」, 東京農業大学・応用生物科学部特別講義 (2014.1)
- 大西貴弘, 「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」, 食品衛生危機管理講習・保健医療科学院 (2014.1)
- 工藤由起子, 「多血清群の腸管出血性大腸菌試験法の検討」, 食品衛生登録検査機関協会平成25年度微生物研修会 (2013.12)
- 寺嶋淳, 「学校給食調理場における衛生管理について」, 人間市教育委員会学校給食関係職員衛生研修会 (2013.7)
- 寺嶋淳, 「学校給食調理場における衛生管理について」, 公益財団法人茨城県学校給食会平成25年度学校給食調理従事員衛生等講習会 (2013.8)
- 寺嶋淳, 「腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症研究の前線模様」, 宮崎大学人と動物の感染症卒後教育プログラム (2014.2)
- 渡辺麻衣子, 「食品真菌の検査－遺物としての真菌とその同定－」, 平成25年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2014.2)
- 菊池裕, 「原因不明食中毒と医薬品の微生物学的安全性確保について」, 明治薬科大学 (2013.4)
- 内藤幹彦, 「抗がん剤耐性と細胞死の分子機構」, 平成25年度東京大学薬学部がん細胞生物学 (2013.6)
- 内藤幹彦, 「プロテインノックダウン法の開発と創薬への応用」, 平成25年度慶応大学薬学部バイオと医療・ゲノム医学 (2013.6)
- 内藤幹彦, 「分子標的医薬品の創製」, 平成25年度昭和薬科大学 (2013.5)
- 近藤一成, 「食の総合管理特論1 食品の安全確保のための技術とその管理」, 早稲田大学 遺伝子組換え食品の検査 (2013.10)
- 近藤一成, 「きのこによる食中毒」, 国立保健医療科学院平成25年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2014.2)
- 近藤一成, 「遺伝子組換え食品」, 平成24年度JICA食品衛生のための行政能力強化 (2014.2)
- 安達玲子, 「アレルギー物質を含む食品の表示と検査方法」, 平成25年度愛知県食品衛生監視員研修会 (2013.5)
- 安達玲子, 「アレルギー物質を含む食品の表示制度と検査法について」, 平成25年度福井県衛生環境研究センター研修会 (2014.2)
- 最上知子, 「国立衛研での化学物質安全性研究と代謝性疾患治療薬研究」, 平成25年度東北大学薬学部薬学概論2 (2013.5)
- 春日文子, 「食品安全におけるリスクアセスメント」, 国立感染研究所FETP初期導入コース (2013.4)
- 春日文子, 「微生物学的リスク評価・予測食品微生物学」, 京都大学農学部 (2013.5)
- 青木良子, 「医薬品を安全に使うために～海外の副作用情報を活用する～」, 東北大学薬学部薬学科 (2013.11)
- 畝山智香子, 「食品の安全性と健康」, 山陽女子短期大学創立50周年記念特別講座 (2013.6)
- 畝山智香子, 「食の安全について考える」, 大阪府立大学公開講座 消費者力育成セミナー (2013.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, 千葉大学園芸学部公開講座 食の安全と安心 (2013.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, 宮城大学食産業学部フードビジネス学科 (2013.11)
- 畝山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, (財)日本健康・栄養食品協会第33・34期食品保健指導士養成講習会 (2013.6,2013.11)
- 斎藤嘉朗, 「ファーマコゲノミクスに関する日米欧のガイドランスについて」, 東北大学薬学部 (2013.6)

斎藤嘉朗, 「重篤副作用と発症予測バイオマーカーについて」, 東北大学医学部 (2013.6)

佐井君江, 「医薬品の安全性に関する研究について」, 帝京平成大学薬学部 (2013.11)

斎藤嘉朗, 「メタボロームの今」, 和歌山県立医科大学 (2013.11)

斎藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院薬学研究科 (2013.12)

中村亮介, 「医薬品の重篤副作用に関する国立衛研の取り組み～ゲノム薬理とアレルギー～」, 東北大学薬学部 (2014.1)

斎藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学薬学部 (2014.1)

斎藤嘉朗, 「医薬品評価における多様性の評価」, 東京大学大学院薬学研究科 (2014.2)

吉田緑, 「レギュラトリーサイエンス」, 東京農工大学工学部集中講義 (2013.11)

杉山圭一, 「栄養保健」, 東京医科歯科大学 (2013.5)

広瀬明彦, 「化学物質のリスク評価の不確実性と規制<毒性学特別講義>」, 大阪大学薬学部 (2013.11)

広瀬明彦, 「化学物質とレギュラトリーサイエンス」, 城西大学大学院 (2013.11)

広瀬明彦, 「レギュラトリーサイエンスと化学物質と行政」, 城西大学大学院 (2014.1)

小野敦, 「リスクアセスメント・マネジメント, 環境毒性(環境汚染物質), 放射性物質, 紫外線, ナノマテリアル」, 第15回日本トキシコロジー学会基礎教育講習会 (2013.8)

2. 講演

川西徹, 「国立医薬品食品衛生研究所の紹介－革新的医薬品・医療機器の開発環境整備に向けたレギュラトリーサイエンス研究を中心に－」, 実験動物中央研究所平成25年度学術懇話会 (2013.7)

川西徹, 「日局の今日的課題について－製法問題, プロスペクティブハーモナイゼーション等－」, 東京医薬品工業協会/大阪医薬品協会研修会 (2013.11)

川西徹, 「日局17以降にむけての日局の課題について－製造工程管理への日局の取組とフレキシブル化－」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団局方説明会 (2014.3)

合田幸広, 「食薬区分と違法ドラッグ」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2013.9)

合田幸広, 「多成分系としての生薬・漢方製剤の特性と課題」, 富山大学・和漢医薬学総合研究所創立50周年記念講演会 (2013.10)

合田幸広, 「分析から判る健康食品の品質の問題点」, 健康ジャーナルセミナー (2014.2)

Goda Y, "Introduction of qNMR to the Japanese Pharmacopoeia (JP) for specification of marker compounds used for standardization of herbal medicines", The 11th Standing Committee Meeting of the Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (2013.10)

香取典子, 「QbD/リアルタイムリリースの現状と将来展望－公的試験規格を適用する場合の諸問題」, インターフェックスジャパン2013 (2013.7)

香取典子, 「日本のBMVガイドライン策定状況」, 第20回クロマトグラフィーシンポジウム ワークショップ (2013.6)

香取典子, 「医薬品開発における生体試料中薬物濃度分析法バリデーション (BMV) に関するガイドライン」, 日本ジェネリック製薬協会第19回製剤研究会 (2013.7)

香取典子, 「PATとは何か－品質を廻るパラダイムの変遷」, 日本薬剤学会主催「PATに関する実習講習会」 (2013.9)

香取典子, 「医薬品の収去検査におけるPIC/S加盟の影響」, 第50回全国薬事指導協議会総会 (2013.10)

香取典子, 「日本のBMVガイドラインの概要」, 第5回バイオアナリシスフォーラムシンポジウム (JBF2014)

(2014.3)

坂本知昭, 「機器分析とGMP品質管理」, 医薬品・化粧品等品質管理研修会 (2013.11)

坂本知昭, 「医薬品科学における分光分析の役割と将来への展望・期待」, 文部科学省大学等ニーズ・シーズ創出強化支援事業・テラヘルツ光と生命科学融合による革新的イノベーションワークショップ (2014.1)

坂本知昭, 「薬の品質評価方法とテラヘルツ分光装置」, 文部科学省「地域産学官連携科学技術振興事業・イノベーションシステム整備事業」第4回イノベーションアーナセミナー (2014.1)

加藤くみ子, 「ナノ医薬品のレギュラトリーサイエンス研究」 「スマートライフケア社会への変革を先導するものづくりオープンイノベーション拠点」, キックオフシンポジウム (2014.3)

加藤くみ子, 「ブロック共重合体ミセル医薬品に関する欧州医薬品庁 (EMA) との共同文書作成」, 第10回レギュラトリーサイエンス学会シンポジウム (2014.1)

加藤くみ子, 「リポソーム製剤の評価手法について」, ナノ製剤技術研究会 (2013.10)

加藤くみ子, 「DDS製剤キャリアの動態とトランスポーター」, 第29回日本DDS学会学術集会 (2013.7)

加藤くみ子, 「ナノテクノロジーの医薬品開発への応用」, 第50回薬剤学懇談会研究討論会 (2013.6)

Sakai-Kato K, “Current Initiatives relevant to Nanomedicines in Japan”, The European Summit for clinical nanomedicines 2013 (2013.6)

川崎ナナ, 「バイオ医薬品の品質に関する今後の展望」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会・特別コース 第一回医薬品品質分野次世代リーダー育成研修講座 (2013.12)

川崎ナナ, 「医薬品の名前: 由来, 構造, 作用機序から効能・効果まで その2. 生物薬品」, チーム医療に貢献する薬局薬剤師養成研修薬学基礎講座 名古屋市立大学薬学部薬剤師養成研修 (2013.12)

川崎ナナ, 「次世代バイオ医薬品における安全性評価技術」, (独) 科学技術振興機構研究開発戦略センター「次世代バイオ医薬品の俯瞰に関するワークショップ」 (2013.12)

袴塚高志, 「ISO/TC249における生薬・製剤分野の動向」, 第30回和漢医薬学会学術大会 (2013.9)

袴塚高志, 「ISO/TC249における生薬及び関連製剤の国際標準化の動向」, 日本生薬学会第60回年会 (2013.9)

Hakamatsuka T, “Japanese pharmacopoeia and relevant monographs, and practical use of natural medicines in healthcare systems in Japan”, International Pharmaceutical Federation (FIP) 2013 (2013.9)

袴塚高志, 「漢方の標準化及び補完代替医療との関係」, 第18回静岡健康・長寿学術フォーラム (2013.11)

花尻 (木倉) 瑠理, 「“脱法ドラッグ (脱法ハーブ)”による健康被害を防ぐために」, 日本法科学技術学会 第19回学術集会特別講演 (2013.11)

袴塚高志, 「漢方・生薬製剤の現状と伝統医学国際標準化の動向について」, 奈良県医薬品製造販売業等管理者講習会 (2014.2)

花尻 (木倉) 瑠理, 「違法ドラッグ流通の現状と指定薬物制度」, 日本薬学会第134年会シンポジウム (2014.3)

内山奈穂子, 「国立衛研における違法ドラッグ製品の流通実態調査」, 日本薬学会第134年会シンポジウム (2014.3)

佐藤陽治, 「再生医療製品 (細胞組織加工製品) の造腫瘍性評価」, 第5回PMDA科学委員会細胞組織加工製品専門部会 (2013.4)

内田恵理子, 「遺伝子治療用ベクターの定義と適用範囲」, 第3回遺伝子治療臨床研究に関する指針の見直しに関する専門委員会 (2013.8)

佐藤陽治, 「細胞・組織加工製品 (再生医療製品) の品質および安全性の確保」, PMDA特別研修 (2013.6.7,9)

佐藤陽治, 「再生医療製品の品質評価法開発 - 残存造腫

瘍性細胞の定量－」, 再生医療実現化ハイウェイ第5回MCP策定会議／第5回再生医療薬事講習会 (2013.10)

佐藤陽治, 「再生医療製品の品質評価法開発－残存造腫瘍性細胞の定量－」, 第5回MCP策定会議／第5回再生医療薬事講習会 (2013.10)

佐藤陽治, 「ヒト多能性幹細胞由来再生医療製品の原料・材料に関する留意点について」, 次世代医療機器評価指標再生医療分野審査WG(ヒト同種iPS細胞由来網膜色素上皮細胞) (2013.11)

井上貴雄, 「核酸医薬品開発の現状と課題およびガイドライン策定に向けた取り組み」, ヒューマンサイエンス振興財団規制動向調査講演会 (2013.7)

井上貴雄, 「核酸医薬品開発の動向と課題」, 第144回ヒューマンサイエンスエキスパート研修会 (2013.10)

井上貴雄, 「核酸医薬品の現状と課題(総論)」, ライフサイエンス技術部会材料分科会講演会 (2013.11)

井上貴雄, 「核酸医薬品開発の動向と課題」, 医薬基盤研究所講演会 (2013.12)

Niimi S, "Immunogenicity Evaluation of Biotechnology-derived Drugs Including Biosimilar Therapeutic Monoclonal Antibodies", URI/EpiVax Westin Immunogenicity Seminar 2013 (2013.5)

新見伸吾, 「免疫原性の予測, リスク因子, 臨床における有効性, 安全性に及ぼす影響」, 第40回日本毒性学会学術年会ワークショップ4 (2013.6)

新見伸吾, 「バイオシミラー抗体医薬品の承認申請における品質・有効性・安全性に関するポイント」, 第23回日本医療薬学会年会日本薬剤学会ジョイントシンポジウム (2013.9)

新見伸吾, 「抗体医薬品の特性・品質の評価」, 第30回動物細胞工学シンポジウム (2013.9)

Niimi S, "Government-private Sector Joint Research Project to Establishment and Standardize Immunogenicity Assays in Japan", Immunogenicity and Immunotoxicity (2014.1)

新見伸吾, 「次世代医療機器の評価指標作成事業の取り組み」, 医療機器ガイドライン活用セミナー#5 (2014.1)

新見伸吾, 「ガイドライン等の作成－次世代医療機器評価指標作成事業－」, 医療機器開発における留意点と国際標準化に関する取り組み (2014.2)

澤田留美, 「再生医療製品に使用される間葉系幹細胞の安全性評価法の確立を目指して」, 日本バイオマテリアル学会2013年度第1回セミナー (2013.5)

松岡厚子, 澤田留美, 加藤玲子, 河野健, 「次世代医療機器評価指標作成事業－再生医療分野審査WG活動報告」, 日本バイオマテリアル学会2013年度第1回セミナー (2013.5)

澤田留美, 「再生医療製品開発における動物実験」, 平成25年度公益社団法人日本実験動物学会維持会員懇談会 (2013.11)

澤田留美, 「再生医療に関連する次世代医療機器評価指標の解説」, 医療機器ガイドライン活用セミナー#4 再生医療関連ガイドライン入門解説 (2014.1)

中岡竜介, 齋島由二, 「医療機器規格・基準の国際標準化戦略に係る政策的提言」, 医療機器開発における留意点と国際標準化に関する取り組み (2014.2)

小林憲弘, 「水道水中の農薬類の分析法開発とその妥当性評価－農薬類を例に－」, 平成25年度水質検査精度管理研修会 (2013.5)

小林憲弘, 「水道水質検査方法に関する最近の話題と今後の展望－農薬類の通知改正を例に－」, 水質分析セミナー2013 (2013.5)

小林憲弘, 「水質基準改正における最近の国の動向と検査手法に関する今後の展望について」, 平成25年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2013.5)

小林憲弘, 「水道水中の農薬類のGC/MSおよびLC/MS/MS一斉分析方法の開発」, 環境科学会2013年会 (2013.9)

小林憲弘, 「農薬類の分類の見直しとその検査法について」, 平成25年度飲料水検査技術講習会 (2013.9)

- 小林憲弘, 「水道水質検査方法における妥当性評価ガイドラインについて」, 平成25年度専門研修「検査技術」(2013.9)
- 小林憲弘, 「農薬類の分類の見直しに伴う新たな検査法開発とその妥当性評価について」, 水道水質検査法セミナー「妥当性評価ガイドラインからの農薬類の検査法分析のポイント」(2013.10)
- 小林憲弘, 「農薬類の分類の見直しに伴う新たな検査法開発とその妥当性評価について」, 水道水質検査法セミナー「妥当性評価ガイドラインからの農薬類の検査法分析のポイント」(2013.11)
- 小林憲弘, 「水道水質管理における農薬類の分類見直しとその分析方法について」, 第31回農薬環境科学研究会(2013.11)
- 神野透人, 「日本の室内空気質の現状: 全国実態調査の結果から」, 平成25年室内環境学会学術大会(2013.12)
- 神野透人, 「室内空気中の揮発性有機化合物: 汚染実態の全国調査と気道刺激性を指標とする有害性評価」, 関東甲信静ブロック専門家会議(環境衛生部門)(2013.12)
- 河上強志, 「家庭用品中の接触皮膚炎を引き起こす防腐剤の実態」, 第56回日本環境化学講演会「-生活環境中の化学物質に関する講演会 POPs条約会議の動向・食品・一般家庭用品・室内環境・化成品及び不純物など-」(2013.12)
- 小林憲弘, 「水道水質管理と検査方法に関する最近の動向」, 日本水環境学会関西支部企画～水道水中に存在する微量有機物質に関するセミナー～(2014.2)
- 神野透人, 「モノクロラミン消毒による消毒副生成物の低減について」, 平成25年度生活衛生関係技術担当者研修会(2014.3)
- 久保田領志, 「平成26年度統一試料を用いた精度管理調査について」, 水道水質検査精度管理に関する研修会(2014.3)
- 手島玲子, 「食品添加物の安全性評価におけるアレルギー性の評価について」, ifia JAPAN 2013(2013.5)
- 手島玲子, 「WHO化学物質の免疫毒性リスク評価ガイドラインについて」, 第40回日本毒性学会学術年会(2013.6)
- 手島玲子, 「食品添加物等のアレルギー性についてのリスク評価」, 第40回日本毒性学会学術年会(2013.6)
- 手島玲子, 「「食物アレルギーについて」-食物中のアレルギーを起こす物質とアレルギー表示について-」, にいがた食の安全・安心を考える講演会(2013.7)
- 手島玲子, 「経皮感作のメカニズムと食物感作のクロストーク」, 第43回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会(2013.12)
- 堤智昭, 「食品中の有害物質の実態調査および摂取量調査～ダイオキシン類, 多環芳香族炭化水素類, 放射性物質を中心に～」, 第56回日本環境化学学会講演会(2013.12)
- 手島玲子, 「遺伝子組換え食品と食の安全を考える」, バイオインダストリー協会主催「食の安全を考えるセミナー」(2014.1)
- 手島玲子, 「加水分解小麦による小麦アレルギー発症の基礎的検討」, 医薬部外品に関する共催シンポジウム(2014.2)
- 手島玲子, 「食品中のアレルゲンの性質とアレルゲン検査法」, 第79回小児アレルギー同好会(2014.3)
- 穂山浩, 「第9版食品添加物公定書作成の方針及び最近の規格について」, ifia JAPAN 2013(第18回国際食品素材/添加物展・会議)/HFE JAPAN2013(第11回ヘルスフードエキスポ)セミナー(2013.5)
- Hiroshi Akiyama, "Risk Management of food Contact Materials in Japan", Society of the Plastics Industry's (SPI) International Symposium on Worldwide Regulation of Food Packaging(2013.6)
- 穂山浩, 「国立医薬品食品衛生研究所における食品添加物のリスク管理の取り組みについて」, 平成25年度全国地方衛生研究所長会議(2013.6)
- 穂山浩, 「食品添加物公定書第9版の方針と最近の規格の動向」, 日本界面活性剤工業会研修会(2013.8)
- 穂山浩, 「第9版公定書の改定とアルミニウム摂取量に

関して」, 平成25年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2014.1)

佐藤恭子, 「マーケットバスケット方式によるアルミニウム摂取量推定」, 日本食品添加物協会第42回食品添加物技術フォーラム (2013.8)

佐藤恭子, 「食品中の食品添加物分析法について」, 平成25年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2014.1)

久保田浩樹, 「食品添加物の摂取量調査について」, 平成25年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2014.1)

久保田浩樹, 「リスク管理を施行した食品添加物の分析と調査に関する研究」, 第19回日本食品化学学会奨励賞受賞講演 (2013.8)

大槻崇, 「鮮魚中の一酸化炭素の検査法について」, 平成25年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2013.8)

杉本直樹, 「食品添加物公定書第9版における試験法の改正①～鉛試験法, 新規既存添加物に関する規格案～」, 第18回国際食品素材/添加物展・会議 (2013.5)

杉本直樹, 「日本薬局方の第17改正に向けた最近の動き－核磁気共鳴 (NMR) 法を利用した定量技術と日本薬局方試薬への応用－」, JASIS2013日本薬局方セミナー (2013.9)

六鹿元雄, 「乳首・おしゃぶりのニトロソアミンについて」, 育児用品衛生連絡協議会勉強会 (2013.10)

六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装の規格試験法の性能評価」, 平成25年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2014.1)

河村葉子, 「第77回JECFA会議報告」, 日本添加物協会・日本香料工業会 (2013.7)

五十君静信, 「数的指標の考え方に基づく規格基準策定に於いてどのような科学的データのサポートが求められたか」, フードフォーラムつくば (2013.4)

Igimi S, "Collaborative study for validation of the

Campylobacter detection method from chicken.", Meeting with Ministry of Food and Drug Safety of Korea (2013.4)

五十君静信, 「プロバイオティクスの安全性について」, 日本生菌製剤協会講演会 (2013.5)

五十君静信, 「食品衛生における国際ハーモナイゼーションの重要性」, 日本食品工業倶楽部品質保証懇話会 (2013.11)

五十君静信, 「今後の微生物試験法を行う上での妥当性確認の重要性と進め方」, 食品産業戦略研究所教育セミナー (2014.2)

朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の予防と対策」, 平成25年度千葉県食肉衛生技術研修会 (2013.11)

百瀬愛佳, 「新たな標準試験法の紹介2 カンピロバクター」, 食の安全を確保するための微生物検査協議会第11回講演会 (2013.5)

岡田由美子, 「リステリア試験法の国際ハーモナイゼーション」, 食の安全を確保するための微生物検査協議会平成25年度研修会 (2013.11)

野田衛, 「ノロウイルス感染症の現状と課題」, 平成25年度岐阜県獣医師会主催学術研修会 (2013.8)

野田衛, 「ノロウイルス研究の動向」, 第18回食の安全を考えるつどい (2013.5)

野田衛, 「A型肝炎の分子疫学と国際的なウイルス伝搬」, 第87回日本感染症学会学術講演会 (2013.6)

野田衛, 「我が国におけるノロウイルス対策研究の取組み」, 第58回ウォーター研究会セミナー (2013.6)

野田衛, 「ノロウイルスの生き残り戦略に関する最新の知見」, 第34回日本食品微生物学会学術総会 (2013.10)

野田衛, 「知って防ごうノロウイルス食中毒－ノロウイルスはなぜ流行したのか－」, 平成25年度食中毒予防セミナー (福井県) (2013.10)

野田衛, 「集団給食施設におけるノロウイルス対策」, 平成25年度ノロウイルス対策研修会 (岩手県) (2013.10)

- 野田衛, 「ノロウイルスに関する最新の知見」, 第45回日本小児感染症学会学術総会シンポジウムII小児科医が知っておきたい食を介した感染症 (2013.10)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 長野県食品衛生協会ノロウイルス食中毒対策セミナー (2013.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と予防」, 第48回徳島県食品衛生大会 (2013.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について－学識経験者の立場から－」, 日本食品衛生協会「ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会」(東京会場) (2013.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について－学識経験者の立場から－」, 日本食品衛生協会「ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会」(京都会場) (2013.11)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について－学識経験者の立場から－」, 日本食品衛生協会「ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会」(仙台会場) (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について－学識経験者の立場から－」, 日本食品衛生協会「ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会」(広島会場) (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒対策について－学識経験者の立場から－」, 日本食品衛生協会「ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会」(福岡会場) (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒とリスクコミュニケーション」, 大分県新任食品衛生監視員等後期研修会 (2013.12)
- 野田衛, 「食品を介するウイルス感染症：ノロウイルス, 肝炎ウイルス」, 明治薬科大学市民講座 (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルス…母としてできること」, 岩国市食品のリスクを考えるサイエンスカフェ (リスコミ) (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の現状と対策」, 川崎市食品衛生協会ノロウイルス食中毒予防に関する講習会 (2013.12)
- 野田衛, 「ノロウイルスの検査法の現状」, 静岡県環境衛生科学研究所技術講習会 (2014.1)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 山梨県食品衛生協会ノロウイルス食中毒予防に関する研修会 (2014.2)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 小田原市食品衛生協会ノロウイルス食中毒予防に関する講習会 (2014.2)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の予防対策」, 厚生労働省ノロウイルスによる食中毒の発生予防のリスクコミュニケーション (東京会場) (2014.2)
- 野田衛, 「ノロウイルス食中毒の予防対策」, 厚生労働省ノロウイルスによる食中毒の発生予防のリスクコミュニケーション (大阪会場) (2014.2)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 川崎市食品衛生協会ノロウイルス食中毒の予防に関する講習会 (2014.2)
- 野田衛, 「ノロウイルスによる食中毒の現状と対策」, 東京都食品衛生自主管理認証制度認証取得業者向け講習会 (2014.2)
- 大西貴弘, 「クドアとサルコシステイスによる新しい寄生虫性食中毒」, 農水省食品安全に係る科学セミナー (2013.7)
- 工藤由起子, 「腸炎ビブリオの魚介類での汚染実態の解明および生残性の解析に関する研究」, 平成25年度学術貢献賞受賞講演, 第105回日本食品衛生学会学術講演会 (2013.5)
- 工藤由起子, 「検証：なぜ日本の腸炎ビブリオ食中毒は減少したのか?」, 第34回日本食品微生物学会学術総会 (2013.10)
- 寺嶋淳, 「腸管出血性大腸菌感染症の動向について」, 第23回北海道感染症フォーラム (2013.9)
- 春日文子, 「感染症研究の現状と将来展開：国際活動について」, 岡山大学感染症フォーラム (2014.1)
- 春日文子, 「世界的な健康問題」, 京都大学第3回GSS国際アドバイザー会議 (2014.2)
- 畝山智香子, 「食品中発がん物質のリスク評価について

- て」, FOOCOMセミナー (2013.4)
- 畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える」, 生活協同組合コープあいち勉強会 (2013.4)
- 畝山智香子, 「安全な食べものってなんだろう」, 2013年度放射線教育フォーラム第一回勉強会 (2013.6)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, ILSI Japan食品リスク研究部会勉強会 (2013.6)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, 水産食品衛生協議会総会定例研修会 (2013.6)
- 畝山智香子, 「子どもの食の安全を守る」, 小児保健協会学校保健委員会・栄養委員会合同研修会 (2013.7)
- 畝山智香子, 「ほんとうの“食の安全”を考える」, 毎日新聞 栄養教諭・学校栄養職員対象セミナー (2013.7)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, 千葉県栄養士会 生涯学習研修会 (2013.8)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク分析について」, 船橋市学校栄養士会研修会 (2013.8)
- 畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える」, 平成25年度長野県食品衛生推進大会 (2013.9)
- 畝山智香子, 「食の安全について」, 第231回山の手小児懇話会 (2013.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 大分県衛生環境研究センター食の安全に係る研修会 (2013.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスクの考え方」, 平成25年度宮城県農業・園芸総合研究所職員研修 (2013.10)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 岐阜県食品衛生監視員研修 (2013.11)
- 畝山智香子, 「「安全な食べもの」ってなんだろう?」, 大田区食の安全・安心講演会と意見交換 (2013.11)
- 畝山智香子, 「食品のリスクの考え方と食育」, 日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会 共催 子どもの食育を考えるフォーラム (2014.1)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価の考え方」, 日本香料協会講演会 (2014.1)
- 畝山智香子, 「安全な食べもの」ってなんだろう」, 平成25年度群馬県「農産物の安全・安心セミナー」 (2014.2)
- 畝山智香子, 「食品のリスクの考え方から見た輸入食品のリスクについて」, 平成25年度和歌山県食の安全タウンミーティング (2014.2)
- 畝山智香子, 「安全な食べものってなんだろう?」, コープながの 食の安全学習会 (2014.2)
- 畝山智香子, 「安全な食べものってなんだろう」, 日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会中部支部研修会 (2014.3)
- 前川京子, 「SIMCAを用いた脂質メタボローム解析」, Umetrics日本ユーザー会2013 (2014.8)
- 小島肇, 「日本での皮膚感作性代替法開発状況について」, 皮膚感作性試験ワークショップ (2013.7)
- 小島肇, 「代替法の国内外の動向」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム (2013.8)
- 小島肇, 「動物実験代替法の国内外の動向と化粧品・医薬部外品の規制」, 日本化粧品技術者会大阪支部勉強会 (2013.8)
- 小島肇, 「代替法の最新情報」, 動物実験についての知識を高めるための教育訓練 (2013.9)
- 小島肇, 「動物を用いないで医薬部外品の承認申請を取ることとは可能か?」, 日皮協会員研修会 (2013.10)
- 小島肇, 「昨今の皮膚毒性評価法の動向」, 安全性評価研究会2013年冬のセミナー (2013.12)
- 小島肇, 「動物実験代替法の長期的展望」, 第3回学術講演会生物学的安全性評価の新たな動向について (2014.3)
- Yoshida M, “Risk Assessment of Pesticides Residue by JMPR - To set ADI and ARfD-”, The FAO Regional Training Course: Strengthening Capacity of Data

Collection and Generation for Food Safety Risk Analysis Support to Capacity Building and Implementation of International Safety Standards in ASEAN Countries (GCP/RAS/280/JPN) (2013.6)

広瀬明彦, 「食品等に含まれる化学物質のリスク評価の経験とそこから見えてきた課題」, 日本リスク研究学会第26回シンポジウム (2013.6)

Hirose A, "Risk assessment methodology for chemicals and contaminants in foods", ILSI HESI Workshop: Risk Assessment in the 21st Century (2013.7)

広瀬明彦, 「Q3Dガイドラインステップ2の元素の毒性評価法の概要」, 第15回医薬品品質フォーラムシンポジウムICH金属不純物のガイドライン (ステップ2) の概要と評価方法 (2013.11)